

2018年度「地球市民教育フォーラム」

第10回 2018年9月29日（土）（10:40~12:20 自由学園記念講堂）

山西 優二（やまにしゅうじ）氏

多文化共生を考える

～一人一人が、自分と出会い、他者と出会うことから～

2001年の「文化の多様性に関するユネスコ世界宣言」にみられるように、文化の多様性そして多文化共生がいろいろなところで目標として掲げられています。しかし一方、難民・移民が大量に流入している地域では、文化間で様々な緊張関係が生まれているのも事実です。日本では外国人住民が急激に増加していることもあり、多くの自治体では多文化共生推進プランを作成しています。東京都は2020年のオリンピック・パラリンピックを意識し、2016年に多文化共生推進指針を策定し、また同年から大学生ゼミによる多文化共生プレゼンコンテストを実施し、大学生の意見を都政に反映させようとしています。

ところで、文化って何でしょうか、文化はなぜ生まれるのでしょうか。いま世界の文化は多様化に向かっているのでしょうか、それとも一様化に向かっているのでしょうか。多文化ってどこに存在しているのでしょうか、多文化は日本人と外国人の関係だけで語れるのでしょうか。文化を相互に理解し合えば多文化共生になるのでしょうか、多文化共生って文化がどういった状態にあることなのでしょうか。

こんな問いについて、一人一人が、自分と出会い、他者と出会うことから、考えてみたいと思います。



講師プロフィール

早稲田大学文学学術院教授、日本国際理解教育学会理事、多文化社会専門職機構副代表理事、かながわ開発教育センター代表理事、逗子市社会福祉協議会福祉教育チーム員など。神戸大学経済学部卒業。商社勤務の後、アメリカへ留学し、またアジア各地を放浪する。帰国後、早稲田大学へ学士入学し教育学を学ぶ一方、NGOの立場から開発教育や人権教育に携わる。それから30数年にわたって、地域、アート、ことば、難民、経済といった切り口から、平和・公正・共生の文化づくりとそのための学びづくりに携わってきている。

参加費：1,000円（当日受付でお支払いください）

申込み：自由学園ホームページにて8/27より受付 ※web申込みが難しい場合は下記FAXにてお申込みください。

お申し込み内容ご記入欄（切らずにFAXしてください） FAX:042-422-1105

お名前	様	電話番号	() -
ご住所	〒		参加人数 名
email		@	
自由学園との関係	保護者・同学会 ・ 女子部卒業生 ・ 卒業生保護者 ・ 友の会 ・ その他 ()		